

# 婚姻届の記入例

## 婚姻届

届出する年月日を記入してください。

令和 年 月 日届出

滋賀県東近江市 長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日 第 号
送付 令和 年 月 日 第 号	長 印
書類調査 戸籍	氏名は旧氏で書きます。
民衆 通知	

※消せるボールペンは使用しないでください

2人の署名が必要です。

証人は、婚姻の事実を知っている人で、18歳以上の方であれば、親や兄弟でもかまいません。押印は任意です。

同時に住所変更届(転入・転居)をするときは、新しい住所を書いてください。ただし、休日に届け出る場合、住所変更は同時にできませんので、旧住所を書きます。

婚姻前の本籍・筆頭者氏名を書きます。

婚姻後にどちらの氏を称するか選択し、☑をつけてください。

(夫の氏の場合)  
☑ 夫の氏  
☐ 妻の氏

(妻の氏の場合)  
☐ 夫の氏  
☑ 妻の氏

(よみかた)	夫 になる 人	妻 になる 人
氏 名	この 太郎 氏 名	おつかわ はなこ 氏 名
生 年 月 日	平成10年 1月 1日	平成18年 3月 25日
住 所	滋賀県東近江市八日市緑町 10番地 5号	滋賀県東近江市八日市緑町 1番地 2号
(住民登録をしているところ) (よみかた)	この いちろう 世帯主の氏名	おつかわ じろう 世帯主の氏名
本 籍	滋賀県東近江市八日市緑町 10番地	滋賀県近江八幡市桜宮町 236番地
(外国人のときは) (国籍だけを書いてください)	筆頭者の氏名 甲野 一郎	筆頭者の氏名 乙川 二郎
父母の氏名 父母との続き柄	父 甲野 一郎 続き柄	父 乙川 二郎 続き柄
(他の養父母は その他の欄に 書いてください)	母 梅子 長男	母 春子 一女
婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☐ 夫の氏 新本籍(左の☐の氏の人が入籍の筆頭者となっているときは書かないでください) ☑ 妻の氏 滋賀県東近江市八日市緑町10番地	
同居を始めたとき	令和5年 8月 (結婚式をおいたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)	
初婚・再婚の別	夫 ☐初婚 再婚(☑死別 平成31年 2月 14日 離別) 妻 ☑初婚 再婚(☐死別 離別) 年 月 日	
同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫 ☑ 妻 ☐ 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 ☑ 妻 ☐ 夫 ☐ 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 ☑ 妻 ☐ 夫 ☐ 3. 企業・個人商店等(官公庁を除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から9人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☑ 妻 ☐ 夫 ☐ 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) ☑ 妻 ☐ 夫 ☐ 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☑ 妻 ☐ 夫 ☐ 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年々…令和 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときに記入してください)	
夫婦の職業	夫の職業	妻の職業
その他		
届 出 人	夫 甲野 太郎 印	妻 乙川 花子 印
署名 押印		
事件簿番号	住所を定めた年月日 夫 年 月 日 妻 年 月 日	連絡先 電話 090 ( 1234 ) 5678 自宅・勤務先 [ 携帯 ]

「筆頭者の氏名」欄は戸籍のはじめに記載されている人を書いてください。

父母が現在、婚姻しているときは、母の氏は省略可能です。また、離婚その他の事情で父母の氏が違うときは、変更後(現在)の氏を書いてください。

夫婦の新しい本籍を必ず書いてください。土地の地番や街区符号の表示(住所の「〇番〇号」の「〇番」まで)を書いてください。ただし、☑の方がすでに戸籍の筆頭者の場合は記入の必要はありません。

再婚のときは死別・離別年月日を記入してください。

国勢調査実施年のみ職業分類より番号または職業分類名を記入してください。

押印は任意です。

必ず連絡先の電話番号をご記入ください。

### 持参していただくもの

- 婚姻届書(1通)
- 運転免許証、マイナンバーカード、パスポート等

\* 本人確認のため

(注) マイナンバーカード  
券面記載事項に変更が生じる場合は、持参してください。

\* 他の市区町村から転入される場合

- 転出証明書
- 年金手帳(国民年金加入者のみ) など

転入手続きは、平日の窓口開庁時間(午前8時30分～午後5時15分)にお越しください。